

日刊 青島新聞

社団法人青島新聞社
九五四町南町平野町
次 藤 藤 伊 人行發
一 趙 吉 町 濱 名 小 縣 島 縣

刊夕日二十月一十
一ヶ月 三十錢
一 部 二 錢
廣告料 一行五十錢
場所指定 十錢増
日曜祭日翌日休刊

社告
社員二名採用す
希望者は至急
御申出下さい
日 常 務 新 聞 社
刊 常 務 新 聞 社

平署 檢舉高
十月 檢舉高
平署に於ける去月中檢舉件
数は窃盗の最多数として
窃盗一三三件 横領四二
件 詐欺三三件 業務上

横領三六件
合計檢舉二八四件(被害高
二、二七四九錢)送致一〇
五件にして特に窃盗檢舉の
数は依然として多いのは寒心に
魚名 五千ケ一、二〇
イビ 五十貫
一、七〇一、二〇〇
一八〇貫
六〇一五〇

濱だより
小名濱魚市場調査
魚名 魚獲高 單價
五千ケ一、二〇
イビ 五十貫
一、七〇一、二〇〇
一八〇貫
六〇一五〇

縣刑事協會長より 強盗 犯人逮捕に 武勇傳の功顯著なつて

石城郡小名濱町警署長 南氏はこもこも語る
部主任小林久雄(三)君は去
る八月廿三日同町千秋一氏
方に侵入して窃盗を働いた
犯人太田原源四郎(三)逮捕
に際し警察官に申告し、逮
捕を容易ならしめたる功勞
大たりと申請中であつた表
彰を今十二日午前九時警署
補詰所で菊地警部補より金
壹封と表彰状を縣刑事協會
長の名により授與された
小林さんは喜びに面を輝か
せて『表彰されたのはこれ
で三度目です』と嬉しさを
包み切れずニコニコ話つた

四倉沖に漂ふ 素裸男の溺死體

昨十一日四倉町新町新妻春
吉所有アグリ船は同日午前
八時同町沖合に出漁中、死
後十數日を經た四十歳前後
の男の素裸死體が漂流し、
るを發見、一時は他殺かど
疑ひしも四倉署で検視の結
果自殺と判明、身元全く不
明に付調査中

冬は其處まで來た 火災期と共に!

強風の夜は一會氣を付けて
ホンプ部員活動
昨十一日早朝猪苗方面吾妻
妻氏外部員出動後、我が
町内の警戒にあつた

火災警防

烈風に自動車ホン
初警戒出動
昨夜よりの強風に平消防
自動車ホン出動町内警戒
と共に愈々赤井嶺吹雪、
段々本格的に警戒も厳し
と努力

酒造販賣組合 納税課長出席で 設立協議會開催

小名濱町では今迄の酒造組
平税務所納税課長出席の
後、廣範圍にわたる統制と
に設立協議會を開催して
べく酒販販賣店をも加入
せ酒造販賣組合と改め、統
制等全組合加入者と折
十三日町役場樓上に於て
協議する筈である

不良の社會より 奇麗な足を洗つた

文雄君更生の第一歩
うれしい話
石城郡小名濱町船引場三十
六番町岡田光長(三)君は長
流す事を喜び愉快に働いて
男朝岡文雄君(一)は一家の
大黒柱、有りながら若さの
故から不良の社會に足を
入れ、家をも顧みず遊び歩
いてゐたので清光さんは家
を思ひ再三意見したが聞き
入らず、愚案に余つて過日
小名濱警署補出所に出頭報
説諭方を依頼した為め、同
所では文雄君を呼出し親の
慈愛や長男たるが故の責任
などを言ひ聞かされ、始作
業は斯道に造詣深く公園
遊園や長男たるが故の責任
などを言ひ聞かされ、始作
業は斯道に造詣深く公園

着 手

眞木氏が擔當
小名濱の電燈はハイカラに
なる事です。……
同如とお聞きすかネオン
余途電を實行する様反省し
て頂戴したいものです。

浪曲界の女大物 契約不履行か?

平の建元松本は
憤慨の余り訴へる
浪曲の女大物大和式部一行
體で中宮や店先に納まり
十數名は今日十日を期し乗
込むべく東京事務所太夫元
坂本へ約束手電報爲替に社
の御方が見事ハイカラに
て送附せし、期日に至るモ
ト等回答も無く乗込む様自
も何等回答も無く乗込む様
は昨十一日大憤慨契約期間
は平を中心に一週間建元損
害見舞一日金五拾圓にして
その他難費共參百圓以上
達し時節柄斯が、インチ
キ興行太夫元契約不履行
本氏を相手に断然たる處置
を取るべく建元松本は憤慨
の余り平署へ詐欺の訴訟を
提出、興行界の大問題とし
て事件は重大化して居る

街の噂

小名濱の電燈はハイカラに
なる事です。……
同如とお聞きすかネオン
余途電を實行する様反省し
て頂戴したいものです。

白馬の雪
辰の口本家
松本徳一
石城郡平野村
電話二八五番

藥 舖 屋 寶
小名濱町平野
港古町九三番

白馬の雪
辰の口本家
松本徳一
石城郡平野村
電話二八五番

印刷見習
昭和活版所
年齢十四歳以上

天候豫報
明日 北風晴
後日 北風晴
夕刻 夕風
氣温 七十五度九

東北港灣振興座談會

速記 錄

小名濱港 (三十四) 十七番の續き

斯様な範圍を勢力範圍と見まして之を勢力範圍と見ましたのは、鐵道の運賃と海運の運賃を比較して海運に依つた方が安く上ると云ふ比較を取つて、此の範圍の移動貨物所請移動貨物の數を見ますと、此の範圍の各驛に於きまして五百萬噸の貨物がある、此の五百萬噸の一割は必ず海運に依るべきものである、して見れば五十萬噸は勢力範圍から、此の港に來る可きものである、是は余程前であるから、今日では一層擴大する事も出来やう、斯う思ふのであります、それから又此の貨物は、將來日立鐵山の鐵石之も此處より出入する事になります、それから茨城縣の久慈郡の山奥に行くと無数の森林がある、此の林産物も此の港から出されるべきものである、是は各驛に付て調べた事がありませう、只今築港所長さんの御話に依ると、荷役能力が五十萬噸であると云ふ事である、私から此の勢力範圍の貨物を申すと五十萬噸に必ずなる、之れ以上に増すものであらうと云ふ想像がつきます、どうしても此の港灣を少く大きく見ますと、單純の小名濱港でなく東北進展の爲めの港灣である、斯う云ふ見地から申しますれば、當初計畫しました三百八十八萬圓三千噸級三艘と云ふものは、必ず必要な港であらうと思ひます、以上の様な次第で今後一層當初の規模の如く三百八十八萬圓程度のものとし、尙ほ其の上第二期三期と進展しますのは別問題として此の一期中に於きまして當初の如く計畫を立て、當港の開発が東北振興の爲めであると云ふ事に御考慮を置かれます、杜希望に堪へない所でございます、どうぞ種々此の問題に付ては精細なる御調査もあられますが、何分にも一層將來の發展の爲めに充分に規模を縮さない様に御考慮を煩はしたいと思ひます

磐城共濟病院

福島縣平町 電話六四一番

内科	院長 石山謙郎
小兒科	部長 佐藤尚輔
外科	部長 大町久藏
耳鼻咽喉科	部長 黒澤廣
婦人科	部長 前澤正
皮膚泌尿科	部長 石山謙郎
花柳病科	部長 石山謙郎
藥局	局長 鈴木寶雄

● 療線科 ● 事務局長 鈴木寶雄

● 夜間診療開始 (毎夜午後十時迄) ● 病室完備・入院隨意

江島屋洋服店

高級紳士服
各中等學校制服調製
各種既製洋服

電話 平町 八二九丁目
(ヤキユウ)

眼科一般 小名濱眼科醫院

小名濱町

耳鼻咽喉專門 小名濱分院

小名濱町中町小學校前

● 廣告の御用は………常時開へ

● 汎く頒布する………

● 毎週月、水、金、午後五時出診

● 大和田耳鼻咽喉科醫院

● 本院平町一六(電平一七〇)

外科專門レントゲン科 上田科醫院

病室の設備有り入院應需

平町南町

● 諸橋外科醫院

● 電 四六四
● 平 町 新 川 町

● 内 臟 外 科
● レントゲン科
● 皮膚科

● 醫學博士 諸橋彌弘
● 醫學士 諸橋義典

木田科齒醫院

小名濱町電話一〇五番

口齒科一般

● 貴女御家庭に御手不足は御座いませんか

● 本會の特長

● 看護婦及産婆の有資格にして最も老練なる看護婦を一般家政婦として派出致します

● 料金は極めて低廉です

● 妊産婦の御家庭

● 御病人の付添

● 其他 雑用

● 身元確實にして最も際立つる婦人職名募集す

● 平町紺屋町二

上原家政婦會

電話 二二二番
上原通子

内科 外科 小兒科 花柳病科 平川醫院

江名町 電話二六番

森合 院醫科齒

町田橋

● 薬は……白石薬舖